

RETURN
NIGEL PEAKE

2017.11.10 FRI - 12.4 MON

IDÉE SHOP ROPPONGI

世界初、ナイジェル・ピークのリトグラフ展“RETURN”開催

日常の中でアートを強く感じることを、楽しむことを提案しているIDÉE Life in Art。この度、イデーショップ 六本木店では、11月10日(金)より、北アイルランド出身のアーティスト、ナイジェル・ピークの初となるリトグラフ作品の発売を記念し、日本で初めての展覧会『RETURN』を開催いたします。このプロジェクトは、彼のドローイング集『IN THE WILD』と出会い、その独特の世界観に魅了されたイデーが、パリの老舗リトグラフ工房「イデム・パリ (Idem Paris)」での作品制作をナイジェルに依頼したことに端を発します。出会いから約2年の時間をかけて、14点の新作リトグラフが完成しました。

カラフルかつ緻密に描かれた彼の作品は、身近な風景や都市の建物などを題材にしていながら、私たちに新しい視点を与えてくれます。彼の独自の視点で切り取られる日常の風景は、そのもの自体のリアリティを残しながら同時にファンタジーを感じさせてくれるものであり、私たちが見ていない世界を発見させてくれるような楽しさがあります。この夏、パリでリトグラフ制作に打ち込むナイジェルを訪ね、Idemのアトリエにて、今回のプロジェクトについてのお話を伺いました。



プロフィール

□ ナイジェル・ピーク *Nigel Peake*

建築家・アーティスト。1981年英国・北アイルランド生まれ。独自の視点で身近な風景や都市の建物などを題材に、シンプルの中にリアリティを残した作品を発表している。現在はパリと北アイルランドを拠点に、世界各国の企業やギャラリーとのプロジェクトでも幅広く活躍中。リトグラフ作品の発表は今回が初となる。 <http://www.nigelpeake.com/>

□ イデム・パリ *Idem Paris*

100年以上の歴史があるパリ・モンパルナスの老舗リトグラフ工房。ピカソ、マティス、シャガールなどの巨匠から現代の作家まで、さまざまなアーティストの作品を制作し続ける伝説的なアトリエ。

ナイジェル・ピーク 来日 11月10日(金)18:30~19:30 トークショー開催

美しいプロセスから生まれる偶然の出会い

建築的なバックグラウンドをあわせ持ち、自然に、都市に、身のまわりのものに独特な眼差しを向け、丁寧な観察と思考で、身近な風景や都市の建物などを題材に作品を描いているナイジェル・ピーク。「見たもの」「感じたもの」を自身の手でダイレクトに描いていく普段の創作と違い、今回のリトグラフは、それを一旦職人の手に委ねたり、工程を考える必要があるといった直接的ではない部分が出てきます。そんなリトグラフの制作プロセスについて彼に尋ねると、意外にもそれはとても美しく素晴らしいものであったと話してくれました。

「リトグラフは、感覚的なドローイングを建築的なプロセスとして積み上げていくことの面白さとともに、その繊細なドローイングみたいなものを職人たちの手に委ねて、大きな機械でガーンとプリントをする、すると完成したものもやっぱりFRAGILE(繊細)だという点もとても興味深い。繊細さは変わらないというそのバランスのコントラストに美しさを感じるんだ」

本のプロジェクトも数多く手掛け、様々な印刷現場を知るナイジェルは、デジタル化された一般的な印刷と比べ、リトグラフの印刷はマニュアル的でそこには必ず人の手が入り、完璧なリトグラフといっても、一枚一枚ちょっとした違いが必ずあると話してくれました。印刷の過程の中で、紙を引く速度によってまっすぐなラインがユラユラと歪んだり、職人の感性で調合される色や版を重ねた時に生まれた色など、自分の意図してないものとの偶然な出会いや発見があり、そんな時にインスピレーションが生まれることがあると言います。

自身の創作について、「新しくものを創り出すというより、自分の周りにあるもの一つ一つに感謝をしたり、一つ一つものを丁寧にみることで自分なり創作ができていく」と話すナイジェルにとって、Idemのアトリエは、何回も何千回も描けるくらい、色々なものが自分にインスピレーションを与えてくれる大好きな場所と話してくれました。

記憶の痕跡が宿るリトグラフ

自身で描いた作品のオリジナル(原画)について、「自分の時間や感情など自分の一部としてその時の視点を投影しているものであり、値段をつけること自体に不自然さを感じるんだ」とこれまで描いた作品のオリジナルは手放すことなく全て自分で持っているというナイジェル。初めて制作したリトグラフについては、Idemの職人たちとカラーテストしたのも、試し刷りも、どの色にするか決めるまでの自分の記憶の一部として全てキープをしているとのこと。時に、オリジナルの複製的な扱いを受けることのあるリトグラフだが、このようなプロセスを踏まえると、ある意味で、全部の色が載って刷り上がったリトグラフは全てが、オリジナルということにもなると彼自身が話してくれました。今回のリトグラフ作品は、ナイジェルの記憶の痕跡に触れるような彼の世界観をより身近に、日常の空間でアートとして楽しむ貴重な存在といえます。



“RETURN”という視点

ナイジェルにとって日本で初めての展覧会となる本展では、過去10年、12年くらいずっと創作してきた中から彼自身が14のテーマを選び出し、それをベースに新たなリトグラフ作品が誕生しました。本展のテーマ「RETURN」について、「日本での開催が初めてなので、過去に戻りつつ、それを新しい視点で紹介するという。そして、“RE-TURN”でTURNさせることによって、また別の視点から見て新しいものが出てくるのもいいなと思ったし、古い作品をまた改めて見てそこに何かを見出すことができると。今回選んだ14点については、別の命を吹き込むことによって、また新しい視点で見られるというか、過去に戻りつつ新しいものを生み出すことを考えて“RETURN”というテーマがいいと思ったんだ」と話します。

ナイジェルの身の回りにあるものや風景に対する深く丁寧な観察と思考、縦横無尽に移る独特な視点で描かれる図案と、常に進化しながら作家のクリエイションを最大限引き出す老舗工房Idemのコラボレーションで生まれた唯一無二なリトグラフ作品は、私たちに新しい視点を与え日常に新たな発見や喜びを与えてくれることでしょう。ナイジェルの世界をこの機会にぜひお楽しみください。

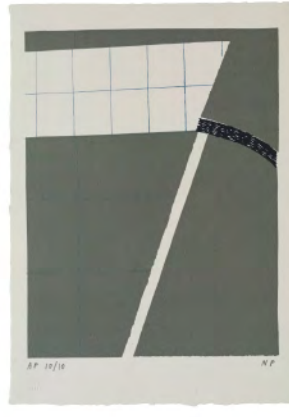
【RETURN 出展作品】



BARN



BLOCK



CORNER



FACADE



ROAD



PATH



TICKET



STACK

【展覧会概要】

ナイジェル・ピーク 新作リトグラフ展“RETURN”
会期：2017年11月10日(金)～12月4日(月)
場所：イデーショップ 六本木店

【アーティストトーク】

日時：2017年11月10日(金) 18:30~19:30
場所：イデーショップ 六本木店
出演：ナイジェル・ピーク、江口宏志(mitosaya 代表、蒸留家)、
川渕恵理子(イデー) ※通訳付・予約不要

【レセプションパーティー】

日時：2017年11月10日(金) 19:30～20:30
場所：イデーショップ 六本木店
フレッシュなボタニカルを使ったカクテルをご提供します。
さらに、店頭でリトグラフをご購入の方に先着で、展覧会オリジナルグッズをプレゼントいたします(数量限定)。

【ナイジェル・ピーク在店日】

2017年11月11日(土) 13:00~17:00
(通訳が同席しますのでお気軽にご来店ください。)

※個別取材も承っております。ご希望の際は下記プレス担当までご一報ください。

【サイズ・価格】

Lサイズ w560×h730×d50mm ¥75,000(税込)
Mサイズ w414×h529×d50mm ¥45,000(税込)
Sサイズ w190×h399×d50mm ¥28,000(税込)

※作品はすべて直筆サインとシリアルナンバー入りの数量限定となっております。

【先行販売】

11月10日(金)よりイデーショップ 六本木店、イデーショップ 梅田店、イデーショップ オンラインにて作品を先行販売いたします。

※その他店舗では11月23日(木)発売

【Press Contact】

デイリープレス 川村／竹形
東京都目黒区青葉台 3-5-33 1F tel.03-6416-3201 info@dailypress.org